

発行にあたって

ごあいさつ

2022年4月に大阪府立大学・大阪市立大学が統合し大阪公立大学が誕生しました。約140年近い歴史を有する2つの大学は、それぞれが培った教育知・学問知を礎として、地域と密接な関係を築いてきました。統合によってこれらの知を単に結集させるだけでなく、日本最大規模の総合大学という特色を活かして培った知の連結をはかり、より多様な「新たな知」を創出したいと考えています。

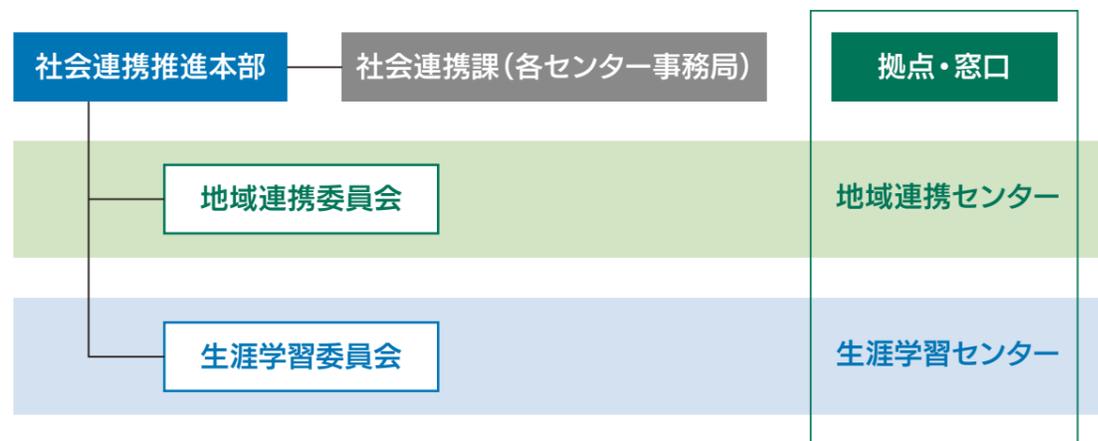
大阪公立大学においては、これまで両大学が地域と築いてきました「地域連携」と「生涯学習支援」の関係性を一層強固なものとして更なる社会貢献に尽力することを目的として社会連携推進本部を設置し、その傘下に、地域社会の抱える課題への連携・支援を目的とした「地域連携センター」、持続的かつ多様な学習の場を提供することを目的とした「生涯学習センター」を設置することとしました。これらの活動を通して、みなさまの生活や地域社会そのものが少しでも豊かになるよう、地域とともに未来を創造したいと考えています。

本報告書では、社会連携推進本部に設置された2つのセンターのご紹介及び2021年度に大阪府立大学・大阪市立大学で取り組みました社会連携活動の一端をとりまとめてご紹介しています。本学と地域のさらなる連携へとつながるきっかけとして、本報告書を活用いただければと祈念しています。

社会連携推進本部長 重松 孝昌



社会連携推進本部体制



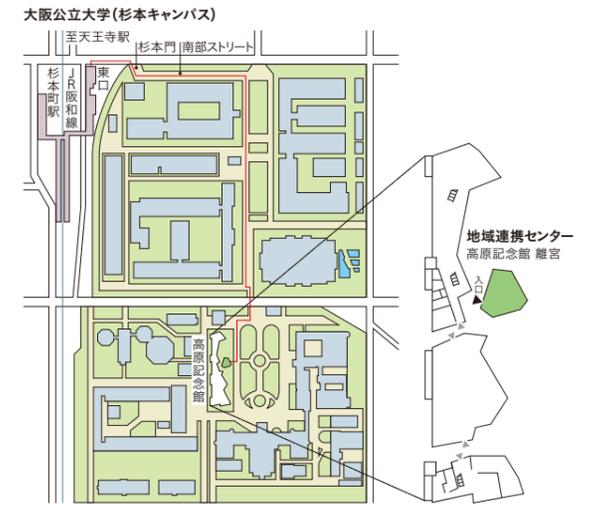
社会連携推進本部 各センター紹介 地域連携センターについて

01 | 概要・アクセス

地域連携センター(Collaboration and Contribution Center for Community)は、地域や行政などから寄せられるさまざまな課題(地域ニーズ)と教育・研究活動等を通じた学内資源(大学シーズ)とのマッチングを図ることで、地域社会と大学をつなぐ役割を担っています。各事業を積極的に推進し、地域の人々の出会いと交流の場の創造に寄与することで、地域の活性化、文化発展の拠点となることを目指しています。



●アクセス

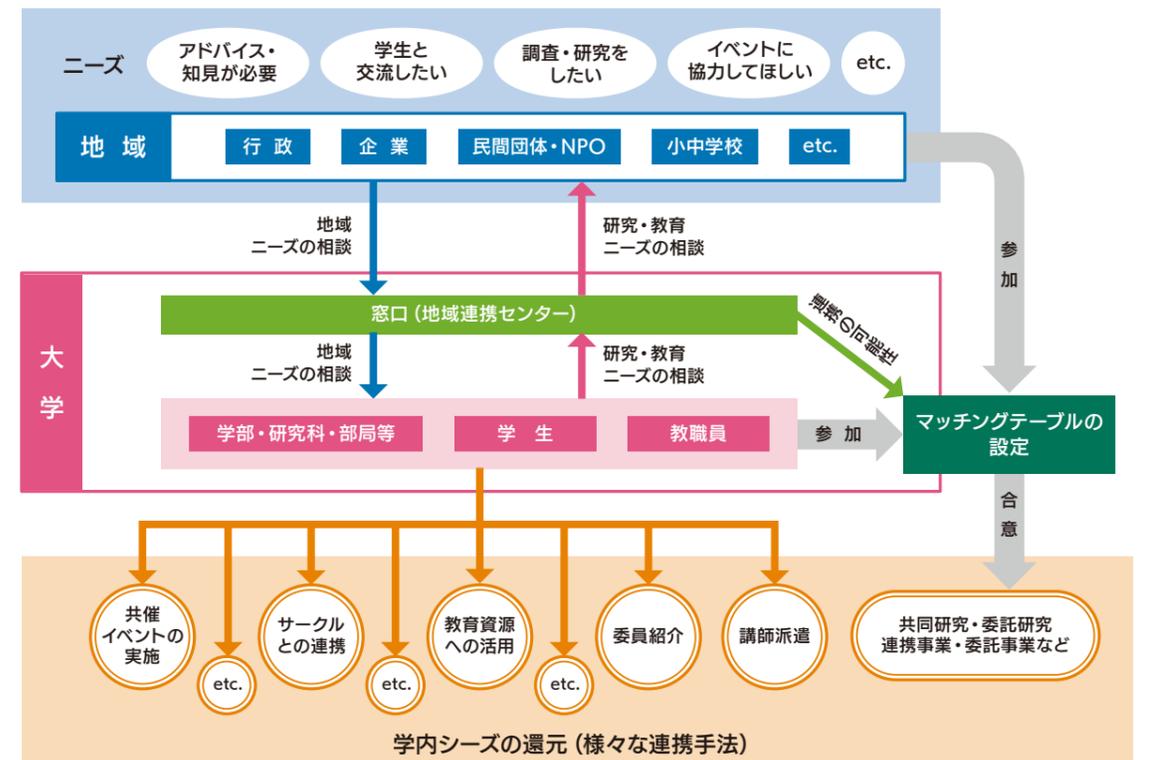


02 | 相談の流れ

お問い合わせは右記URLまたはQRコードから相談申込書をダウンロードし、ご連絡ください。

相談申込書

<https://www.omu.ac.jp/connect/contact/>



03 | 活動紹介

1 行政との連携

■スタートアップ支援事業(2017年度～：大阪府、大阪市)

本学の設置団体である、大阪府・大阪市と大学とのさらなる連携推進を目指し、本格的な事業化・共同研究に向けた初動の取り組みを地域連携センターが支援しています。府市の行政ニーズと学内の教育・研究シーズとのマッチングを目指し、コーディネートしています。

■受託事業

▶西成情報アーカイブネット企画運営事業(2013年度～：大阪市西成区)

歴史的・学術的価値のある地域資料／史料のアーカイブ化や公開を進めることで、地域住民への歴史理解と地域力醸成を促します。また、小学生や教員を対象とした教材制作や研修をとおして次世代支援にも取り組んでいます。



▶津波浸水区域外での災害時避難所確保計画策定に向けた調査・分析業務(湾岸8区)(2018年度～)

南海トラフ地震における津波浸水被害を想定し、湾岸8区における津波浸水区域外への避難行動計画を策定するとともに、災害時避難所確保計画策定に向けた調査・分析を行ってきました。引き続き、各自治体と共同しながら情報共有と計画の見直し・浸透を目指します。

▶旭区防災教育事業(2021年度～：大阪市旭区)

地震災害による建物被害及び人的被害を軽減させるために、地域全体での防災力の向上が求められています。旭区と連携し、これから地域の防災力向上を担っていく若い世代をターゲットに防災教育プログラムを展開しています。現在は、主に中学生を対象に実施しています。

2 地域との連携

■博学連携事業(2011年度～：大阪市博物館機構、大阪市文化財協会)

大阪市博物館機構および大阪市文化財協会と、研究・教育・地域貢献などのさまざまな分野で連携を進めています。大学生の教育にとどまらず、博物館学芸員と大学教員との共同研究、地域住民に向けた講演会や最新の研究成果の報告など、地域の人材育成や学術文化の向上発展に向けて積極的に取り組んでいます。



■JR西日本との連携企画(2019年度～：西日本旅客鉄道株式会社)

JR沿線地域の課題解決・地域活性化について、学生のアイデアをJR西日本へ提案するコンテストを実施しています。学生ならではの視点から新しいアイデアを考案し、さらなるまちのにぎわい創出を提案します。学生はJR西日本の社員と意見交換を行いながらアイデアを深めることができ、立案した企画を企業へ提案できる社会体験の機会を得ています。



■地域団体との共催企画の実施

地域の学校や諸団体からの相談に応じ、講師や委員の派遣や連携企画の実施など、さまざまな形で地域と大学との連携を実現しています。

- ▶大阪府高齢者大学校との共催講座の実施
- ▶今福地域活動協議会との地域連携活動

3 地域連携に伴う人材育成

■大学における地域志向教育への取り組み

都市や地域社会が抱える課題とその解決の方策を現場で学修するプログラムを設置し、主体的に地域社会をデザイン・コーディネートする人材の育成を目指しています。また、「地域連携副専攻(CR副専攻)」の実習・演習等に貢献し得る教育・研究活動に取り組む本学教員に対して助成を行っています。

- ▶地域連携副専攻(CR副専攻)
- ▶地域志向教育研究補助事業

■地域との連携による学習機会の提供

▶公大授業

春季に開講し、大学の授業やキャンパスの雰囲気を一早く体験することができるイベントです。高校を通して申込を受け付けており、高校生に大学で学ぶことの楽しさを感じ、進路についての考えを深めていただくことを主な目的としています。※個人での申し込みもできます。



▶上方文化講座

公益財団法人文楽協会の協力のもと、文楽界の中核を担う名手を客員教授としてお招きし、文学研究科の教員との協働により組み立てた正規の授業科目を地域の方々に公開しています。大阪の地に育まれた伝統芸能「文楽」に光をあて、学問的体系のもとに学ぶことで、地域文化を深く学ぶ機会を提供しています。



▶大阪公立大学化学セミナー

大阪府教育委員会との包括連携協定に基づく高大連携事業の一つとして、最先端研究に関わる大学教員による講義を通じて、科学的な見方、考え方を育成するとともに、学習や進路選択に関する意欲を高めることを目指しています。

4 広報

■SNS

地域連携センターで取り組むさまざまな事業やお知らせを発信しています。

Instagram アカウント @omu_4c

https://www.instagram.com/omu_4c/



facebook アカウント @omu.4c

<https://www.facebook.com/omu.4c>



Twitter アカウント @omu_4c

https://twitter.com/omu_4c



■メールマガジン ForC News

定期的にメールマガジンを配信し、活動報告やイベントの案内などを行っています。配信をご希望の方は、Webサイトのお問い合わせからご連絡ください。

■Webサイト

地域連携センターWebサイト

<https://www.omu.ac.jp/connect/>





01 | 概要

大阪公立大学の教育研究の成果等を広く地域社会に還元することにより、人々の知的探求心の向上と豊かな社会生活のために多様で質の高い学びの機会を提供し、地域の生涯学習拠点となることを目的として、生涯学習センターが発足しました。

生涯学習への入口となる「公開講座」の企画・立案のほか、生涯学習に関するニーズの把握・分析を行い、人生100年時代において「学び」が継続できる環境の構築を目指しています。



●公開講座の主な会場

I-siteなんば
大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階

文化交流センター
大阪市北区梅田1-2-2-600
大阪駅前第2ビル6階

杉本キャンパス
大阪市住吉区杉本3-3-138

中百舌鳥キャンパス
堺市中区学園町1-1

現在受付中の講座の情報は、こちらをご覧ください。

大阪公立大学公開講座



大阪公立大学 生涯学習・公開講座サイト

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



02 | 出張講義のご案内

生涯学習センターでは、本学の教員が学外に出向いて実施する「出張講義」の申し込みを受け付けています。

■講義内容

出張講義の講師・テーマについては、[出張講義メニュー](#)をご覧ください。

出張講義メニュー

<https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/syuttyoukogi>



講義時間	90分(目安)
開催日	原則、土曜日・日曜日・祝日を除く平日
申し込み	原則、各年度に1機関2回まで

※上記に当てはまらない場合はご相談ください。

■申し込みができる機関

自治体などの公的機関、市民団体、企業、NPO、高等学校(特別支援学校を含む)等



注意 営利目的の事業(申込機関が必要経費以外の集金を行う事業や販売を目的としたイベント等、本学が不適当と判断する事業)における講義はお申込みいただけません。

■講義料

1講義 20,000円(税込)



注意

- ・申込者が高等学校(特別支援学校を含む)で、出張講義の受講者が高校生の場合、本学の予算の範囲において講義料を無料で実施します。
- ・前項にかかわらず、講義の実施にあたり、講師が補助のための人員や物品の購入・配送等の準備を必要とするときは、別途その実費をご負担いただく場合があります。
- ・開催場所が遠方である場合及び宿泊を必要とする場合には、事前にご相談のうえ、原則その費用をご負担いただきます。

■お申込から実施までの流れ

[ご案内](#)の「お申込から実施までの流れ」をご確認ください。

ご案内

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/delivery/>



地域課題解決や地域発展に資する人材の育成に必要な講師派遣に関しては、地域連携センターでも相談を受け付けています。

問い合わせ先

<https://www.omu.ac.jp/connect/contact/>

